

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	多量の水/適切な薬剤で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合は医師の診察/手当を受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
急性症状及び遅延性症状の 最も重要な徴候症状	徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。
医師に対する特別な注意事項	特別な処置が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤	周辺設備に適した消火剤を使用する。 この製品自体は燃焼しない。
使ってはならない消火剤	使ってはならない消火剤データなし
特有の危険有害性	特有の危険有害性データなし
消火を行う者への勧告	関係者以外は安全な場所に退去させる。
特有の消火方法	安全に対処できるならば、製品容器を火災危険区域から移動すること。 消火作業は、可能な限り風上から行う。 防火服又は防炎服を着用すること。 消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。
消火活動を行う者の特別な保護具 及び予防措置	

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具 及び緊急時措置	関係者以外は近づけない。 回収が終わるまで充分な換気を行う。 適切な保護具を着用する。 安全に対処できる場合は漏洩を止める。
環境に対する注意事項	漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。 下水、排水中に流してはならない。 粉じんが飛散しないようにする。 掃き集めて、容器に回収する。 回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。 掃除機で吸引して、容器に回収する。 水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。 拡散を防ぐためにプラスチックシートで覆うこと。
封じ込め及び浄化方法及び機材	

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	
取扱者のばく露防止	粉じんを吸入しないこと。
局所排気・全体換気	排気/換気設備を設ける。
注意事項	皮膚に触れないようにする。 眼に入らないようにする。 粉じんの発生と堆積を防止する。 使用前に取扱説明書を入手すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 指定された個人用保護具を使用すること。
安全取扱注意事項	データなし 眼、皮膚、衣類につけないこと。 取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗う。
接触回避 衛生対策	
保管	
安全な保管条件	換気の良い場所で保管すること。 容器を密閉しておくこと。 涼しいところに置き、日光から遮断すること。 施錠して保管すること。 直射日光、高温、着火源(裸火、火花など)を避けること。 水濡れと湿気を避けること。
避けるべき保管条件	紙袋、樹脂袋
安全な容器包装材料	

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

許容濃度

管理濃度、濃度基準値データなし
タルク(石綿繊維、結晶質シリカを含まず)
日本産衛学会(2023) 1mg/m³(吸入性粉塵); 4mg/m³(総粉塵)
石英(結晶質シリカ)
日本産衛学会(2006) 0.03mg/m³(吸入性粉塵)
タルク(アスベストを含まないもの)
ACGIH(2010) TWA: 2mg/m³(E,R)(肺線維症; 肺機能)
石英
ACGIH(2010) TWA: 0.025mg/m³(R)(肺線維症; 肺がん)

ばく露防止

設備対策

密閉された装置を使用する。
排気/換気設備を設ける。
洗眼設備を設ける。
手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

保護手袋を着用する。

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

保護衣を着用する。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状態

固体(粉末)

色

白色

臭い

無臭(臭いの閾値データなし)

融点・凝固点

約900°C(分解)

沸点、初留点及び沸騰範囲

データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)

燃焼しない

爆発下限界及び爆発上限界

/可燃限界
適用外

引火点

燃焼しない

自然発火点

適用外

分解温度

約900°C

pH

弱アルカリ性 8~10 (5%水溶液)

動粘性率

データなし

溶解度

水、アルコールおよび有機溶剤に不溶

n-オクタノール・水分配係数

データなし

蒸気圧

データなし

密度及び/又は相対密度

2.7~2.8g/cm³

粒子特性

D50=0.6 μm~33 μm(板状)

10. 安定性及び反応性

反応性

データなし

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

フッ化水素酸に溶ける。アルカリ溶融で溶解する。

避けるべき条件

直射日光、高温、着火源(裸火、火花など)を避けること。

水濡れと湿気を避けること。

混触危険物質

データなし

危険有害な分解生成物

データなし

汚染容器及び包装

下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。
廃棄処理に際し粉じんの発生を防止すること。
内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号	該当しない
正式輸送名	該当しない
分類または区分	該当しない
容器等級	該当しない
IMDG Code (国際海上危険物規程)	
国連番号またはID番号	該当しない
正式輸送名	該当しない
分類または区分	該当しない
容器等級	該当しない
IATA (航空危険物規則書)	
国連番号またはID番号	該当しない
正式輸送名	該当しない
分類または区分	該当しない
容器等級	該当しない
環境有害性	
海洋汚染物質 (該当/非該当)	非該当
特別の安全対策	データなし
MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質	バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される有害液体物質に該当しない。
MARPOL条約附属書V - HME (海洋環境に有害)	発がん性: 区分1, 1A, 1B 該当物質 石英 特定標的臓器毒性, 反復ばく露: 区分1 該当物質 タルク
国内規制がある場合の規制情報	
船舶安全法	該当しない
航空法	該当しない

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令	
毒物及び劇物取締法	該当しない
労働安全衛生法	
特化則	該当しない
有機則	該当しない
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物	名称表示危険/有害物: 石英(別表第9の165の2) 名称通知危険/有害物: 石英(別表第9の165の2)
がん原性がある物 (規則第577条の2第5項)	石英
化学物質管理促進(PRTR)法	該当しない
消防法	該当しない
輸出貿易管理令	別表1の16項(キヤツチオール規制) 第25類 土 石類
化審法(特定化学物質、監視化物質、優先評価化学物質)	該当しない

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN
IMDG Code, 2022 Edition (Incorporating Amendment 41-22)
IATA 航空危険物規則書 第65版 (2024年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2024 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2023 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
GESTIS-Stoffdatenbank
Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ(独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIPI) (令和5年度(2023年度)公表分まで))です。